

FULL SWING 02

相模原市議会議員

えのもと 揚助

議会報告

一般職の給与(増額)改定に
ただひとり反対!
採決『44人对1人』



明日の相模原を築く会

Build tomorrow SAGAMIHARA



『為政者』として 覚悟を持って本気の政治に徹す

この度の令和元年台風19号により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。2019年、私は市議会議員として自身の選挙公約の一つ『市長報酬の適正化』について、まず一歩前進ができました。皆様の声を早速市政に届け実現できたことを嬉しく思いつつ、まだまだ『政策実現』には課題も多いことを痛感しています。しかし、市民の皆さまの関心やご意見が政治を変える強力な後押しとなることは明白です。

『為政者』として『住民代表』として、より多くの市民の皆様と対話をし声を届けていきます。ご協力宜しくお願いします。

相模原市議会議員

榎本 揚助



『身を切る改革』はじめての一步!!

市長・特別職・市議会議員

賞与増、見送りへ

6月の一般質問にて本村市長へ、今までは毎年ボーナスを上げ続けてきたが、『私はやらないということ』をはっきりと明言していただきたい!と質問し議会では明言を得られませんでした。今回市長の賞与増見送りを決断!



議会の内容を
動画で見よう

議会動画
[開始～ラスト迄]

毎年続いていた市長のボーナスUP見送りの結果

質問では、特別職、一般の市職員のことは敢えて問いませんでしたが、トップの決断から『特別職・市議会議員』のボーナスUPも見送りとなりました。



議会でしっかりと質問をすることが『改革の一步』となると実感しました!
こうした、機会を一つ一つ大切に活かして『行革』を進めていきたいと思います。

相模原市民『皆さんの声』は、市政に届きます!

多くの市民の皆さんの応援をいただき市議となり、6月の議会で質問した『市長のボーナスUP』の件は、浪人時代から多くいただいていた『市民の声』でした。

今回、12月の質問では、市民の負担増となる『行財政改革』について、しっかりと追求しました。

今後 相模原の大きな課題は『財政』

市が発信する『行財政構造改革プラン』に注目を!

【行財政構造改革プランとは】：相模原市の財政状況は、非常に厳しく長期財政収支の仮試算を実施したところ、毎年度、多額の歳出超過が発生し、計画期間中の累計で約768億円に達する見込みとなっております。

そして、このまま今と同様の行財政運営を行っていくと、いずれは本当に必要な行政サービスすら、行えなくなる恐れがあると相模原市より発表がありました。その為、行財政運営を見直し、抜本的な改革を進めていく方針となりました。

Q ●歳出を抑えるためには?
●税収を増やす為には?

この『行財政構造改革プラン』についても、市民の皆さんと相模原市のことを考えていければ相模原市は変わります!

皆さんの声をお聞かせください

一般職の給与(増額)改定に ただひとり反対!

採決『44人对1人』

市財政の厳しいなか、行財政改革案として市民負担増をお願いする議案が提出される一方で、慣例通りに行われる給与改定が市民に理解が得られるものなのか、定例会議で質問しました。



議会の内容
動画で見よう

議会動画
[59:28秒〜ラスト迄]

一般職員給与の改定について、 本市の現状に沿った判断か問う

※人事委員会勧告に沿い改定の説明がありましたが、『民間企業との差の開き』、『本市の厳しい財政』等を鑑みて妥当か?

- ①一般的な民間給与調査と比べ大きな差がある。

国税庁発表の
民間給与実態調査
(H30年度)

全国の平均年収 **441万円**

- ・内正規社員 **504万円**
- ・非正規社員 **179万円**

- ②人事委員会勧告の調査事業所に中小零細企業が含まれていない。

人事委員会勧告
調査対象事業所

企業規模50名以上かつ
事業所規模50人以上の企業が対象

市内
対象企業 **223社**から**87社**を選出

これは企業全体の0.3%を対象とし、中小零細企業は対象にすら入っていない。

- ③全国一律を根拠としているが、財政状況は一律ではない。

本市の財政状況

本市の経常収支比率は
100%に近い

今回の条例改正による職員給与の改定により

2億1,650万円の予算計上

職員給与改定は『※人事委員会勧告』という制度に沿って実施されています。

【議案通りに給与改正を行うと】

職員平均
年間給与

2万4,000円アップ!

615万8,000円となります。

人事委員会勧告(調査結果)を受けて、今回の改定では給与アップを行う方針ですが、民間企業と比べ大きな差があり問題があるのでは?

神奈川県民の
平均年収は
※ **553万円**

※消防署職員などの公安職については別に考える必要があります。



市民に痛みが伴うであろう

行財政構造改革プランの策定

※人事委員会勧告とは

人事委員会勧告とは、公務員と民間企業の従業員の給与水準を均衡させることを目的とした制度です。毎年、企業規模50人以上かつ事業所規模50人以上の企業の中から無作為に抽出した企業の報酬の調査・比較を行い、公務員の給与改定を勧告するものである。

人事委員会勧告に法的な拘束力はなく、他市では、人事委員会勧告に従わなかった市もあります。

※厚生労働省『賃金構造基本統計調査(平成30年度)』

行財政構造改革で市民に負担を お願いしながら、職員の給与アップはなぜ？

本市の財政状況や長期財政収支の動向、今後の人口動態等を踏まえると、**これまでと同様の行財政運営を続けると必要な行政サービスが困難となる**と説明しながら、何が何でも人事委員会勧告に倣いつづけるのかどうなのか？

行政も相応の負担・
歳出削減が必要だが

行財政構造改革プランには…
職員給与の見直しは含まれない？

今回の労使交渉で対応策は
執行部側から出ていなければ
おかしい話ですが…

市の答弁(要旨)

総務局長 職員の適正な給与水準を確保するため、人事委員会勧告の内容を尊重して今回も行っている。

下仲副市長 歳入規模に応じた算出となるような事業の適切な選択を取り組んでいく、収支均衡の達成状況等によっては人件費の総額の削減につきましても、検討しなければならない事態となることも想定されない訳ではない。現時点ではプランの策定に着手した段階である為、内容は固まっている。

さらに
言えば

**今回の災害復旧等に関わる補正予算や
災害活動・復旧活動にあたる職員の時間外勤務手当なども予算計上**

災害復旧等に関わる補正予算総額

44億円 内半分近くのお金を市債発行に依存
※未来にわたって市民の負担となる。

災害復旧に関わる時間外勤務手当

1億5,000万円 (補正予算総額)

今回の災害で**3000名**を超える方が**ボランティア**に参加(市内1246名・市外1806名)いただき、**寄付金・義援金**として、合計**18,723,366円**の負担をいただいている。

**すでに多くの負担をお願いしていることを
我々は肝に銘じなければならない!**

今回の判断が市民に納得をいただけているのか判断して欲しい!

議会の決議の場で採決へ

当日、休会中に総務委員会で審査
総務委員会で総員の可決

議会で採決の結果…

賛成44 対 反対1

えのもと揚助市議が只一人反対
を表明するも可決となりました



民主主義の原則により多数決で可決となりましたが、他議員からも質問の妥当性を評価される声もあり、市民のため行財政改革と議会改革の必要性を新ためて感じました。



質問 1

市民に痛みの伴う行財政構造改革と 為政者の身を切る覚悟について

議会動画

[6:45:40秒～ラスト迄]



市民に痛みが伴う行財政構造改革は
誰のためにやらなければいけない改革であるのか?

市長の答弁(要旨)

本改革は相模原市民お一人おひとりの生活を守っていくために行う改革である。

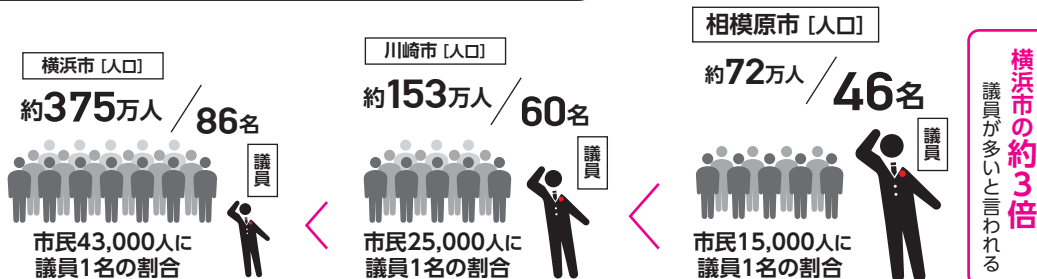
行財政改革を 推進する理由

「本市の財政状況や長期財政収支の動向、今後の本市の人口動態等を踏まえるとこれまでのような行財政運営を続けた場合、持続可能な都市経営は愚か、いずれは真に必要な行政サービスの提供すら困難となると見込まれる」と行政側より発信したものの。

行革のプランが出て、集会や街頭で声を聞くと市民からは…

『それだけ財政が厳しいんだったら、先ずあなたたちからやりなさい。
政令市の中で議員の人数が多いのだから』と…。

県内には相模原市・横浜市・川崎市の
3つの政令市がありますが



行政側が提案した行革プランは、議会側にも改革を迫られていることと同義である。
為政者の皆さんもその覚悟を決めなければならないと思います。

改革の旗振り役は改革本部の本部長の本村市長です!

市長は、行財政構造改革の参考にと、大阪市役所で松井市長とお会いされていました。

大阪市
松井市長

給与とボーナス40%削減
退職金に至っては現在0円

トッパの気迫が波及して、
特別職の報酬も削減／議員も報酬の削減

市長はどのような
痛みをとるのか?

市長の答弁(要旨)

これまで国の特別職と同様の扱いをしておりました常勤特別職の期末手当の増額を見送りました。また、行財政構造改革プランの策定については、収支均衡を基本として事業の選択と集中を行うこととしている。こうしたプランを踏まえ、常勤特別職の給与等につきまして判断する必要があるものと考えております。

私自身も言うだけでなく、住民代表として地域や市民の声を聞き、しっかりと説明すべきは説明をして行革に最大限協力させていただきます。

質問2 令和元年台風19号と水源地域『森林・治山』対策について

水源地域である旧津久井地域の被害は甚大でありました。

私も仲間を募り、何度も被災地に足を運び復旧・復興のお手伝いをする中で、これからやらなければならない事が見えてきました。

水源地域の山を守る為には「森林事業と治山事業」の総合的な対策が必要だと考えますが、市長のご所見をうかがいます。

市長の答弁(要旨)

森林事業と治山事業を連携して実施していくことは非常に重要で、森林・治山、両事業を連携していく為には、県と市が連携することが重要でもあります。

森林を守るための
実態はどうなの
でしょうか？

水源地域の市(現在)と県(合併前)の人員配置と組織体制は以下のとおり。

合併前は、県津久井地区行政センターに、土木(建築)・商工労働・総務・企画・農政(林務)・保健所・環境・県民・教育事務所・県税事務所・地域農業改良普及センター・出納事務所など12部署、約300名体制。

※当時の4町役場とは別に県による水源地域振興のために置かれていた機能。

12部署

約300名体制

現在の市の体制

森林整備に
係わる職員数

7名 [内2名が技術職]

沢や水路の担当

専門の職員なし
[道路部が担当部署]

※通常の管理はできていない。
基本的には通水機能の確保の対応のみ

水源地域・ダム対策
担当について

職員数：1名

合併前の県の体制

40名 [内29名の技術者は津久井郡の管轄
+各町に数名の職員が在籍]

県津久井地区行政センター内、林務部

[部署：河川砂防部(全員技術職)]

職員数：14名

県津久井地区行政センター内

県本庁の水資源対策室・土木部・企業庁の
他、城山・相模湖・各町の県管理事務所に
よりダム対策を推進

えのもと揚助 統括・提言(要旨)

市からは、増員というよりは、組織強化のについて専門的な知識と技術を有する人材の育成が必要と考える。との回答でした。

市民の安心・安全を守る上でも各部署の職員の増員と水源地域対策の総合的な組織の新設が必要と考えます。

上記のことからもわかる
ように、合併前に比べて
激減しています。



えのもと奨助 質問(要旨)

質問3 多様な学びの場を。居住地域に用意する インクルーシブ教育について

今、田名中学校の1年生に森崎仁くんという肢体不自由の生徒さんがいます。仁くんは居住地域の田名中学校に入学したいと担任の先生に相談したところ、熱心に寄り添い背中を押してくれました。

ですが、その過程は簡単ではなく、「いじめ」や「学校が合わない」「後悔するのでは?」との話を聞き、一時は心が折れかけたそうです。

しかし、担任の先生は「仁くんなら大丈夫!」と最後まで信じ続けてくれました。そして、担任の先生の熱意と、地元中学校にエレベーターが設置されていることにより居住地域へ、在学を決意したそうです。

相模原市に於ける現状

全市立中学校の

エレベーター
設置率

27%

肢体不自由な
児童・生徒の

居住地域
在学率

26%



居住地域の学校を選択できる
環境が整っていない

今後、環境整備しインクルーシブ教育の推進へ対応を問いました。

教育長答弁(要旨)

- 『新相模原教育推進プラン』に沿って、学校のバリアフリー化を進めていきます。

えのもと奨助 統括・提言(要旨)

『現場の先生の熱心な対応』と『エレベーターの設置』が必要。財政は厳しいことは承知していますが、**教育は聖域であって良い**と考えます。実行に拘っていただきたい。

森崎仁くんに聞きました『地元学校へ行って良かったことは?』

仁くんは、「今年の夏に初めて一人で地元の盆踊り大会に参加したことです」と答えてくれました。

これまでは、車で地域外へ通い地元友達や知人が少なかったとのこと。

中学校で仁くんを知った、友達からの誘いで行ったエピソードです。

地元の友達って大人になっても変わらぬ『友』になりますよね



☆『これからの相模原市へ関心を』議会報告02作成

今回の議会報告は、えのもと奨助議員の6月質問の成果と12月定例会議本会議の一般質問の内容を誌面として『わかりやすさ』『伝わりやすさ』を重視してまとめました。

しかし誌面だけでは、えのもと奨助議員が練りに練った質問や市からの答弁の全てを伝えることは難しい。今回の誌面には、各議会動画の『QRコード』を掲載しています。

えのもと奨助議員の議会での質問は、「聞きやすく」とても「分かりやすい」内容となっています。本報告書と併せて動画でも議会の様子や市の現状、そして『これからの相模原市が行うこと』を知っていただければ幸いです。

<編集長>

- ☆ご連絡 ・えのもと奨助議員の市政説明会(数名から可)実施の場を随時募集中!
- ・この『議会報告』のポスティングに協力していただける方 募集中!

後援会『明日の相模原を築く会』
一緒により良い相模原を目指しませんか?

この議会報告は、「相模原市議会議員 えのもと奨助」の後援会として「明日の相模原を築く会」が発行しています。発行にあたっては、政務調査費を一切使わず、自費にて作成しています。

「明日の相模原を築く会」では、後援会への加入やご支援いただける方を随時お待ちしております。どうぞ一緒に明日の相模原のために、えのもと奨助議員と活動していきましょう。

ご興味のある方は、下記までお問い合わせください。

明日の相模原を築く会

Build tomorrow SAGAMIHARA

相模原市議会議員
えのもと奨助 議会報告『Full swing 02』

発行日: 2020年1月13日

[事務所] 〒252-0242
相模原市中央区横山 1-1-13 (2F)

TEL. 042-707-0955 FAX. 042-707-9363
✉ yousuke.enomoto.sagami@gmail.com

f 明日の相模原を築く会
@asuno.sagamihara

[えのもと奨助オフィシャルサイト]

https://www.enomoto-yousuke.com/

